

会議録・令和2年12月21日第4回定例会（最終日）

1. 招集の年月日 令和2年12月3日
2. 招集の場所 明和町議会議場
3. 開 会 12月21日 午前9時00分 議長宣告
4. 応招議員 14名
 - 1番 奥山 幸洋
 - 2番 松本 忍
 - 3番 乾 健郎
 - 5番 阪井 勇男
 - 6番 下井 清史
 - 7番 江 京子
 - 8番 田邊 ひとみ
 - 9番 綿民 和子
 - 10番 北岡 泰
 - 11番 山内 理
 - 12番 中井 啓悟
 - 13番 樋口 文隆
 - 14番 高橋 浩司
 - 15番 伊豆 千夜子
5. 不応招議員
なし
6. 出席議員
14名
7. 欠席議員
なし
8. 本会議に職務のため出席した者の職氏名
議会事務局長 田中 一夫
議会書記 肥留間 晴美 中瀬 弘雅
9. 地方自治法第121条による説明のため会議に出席した者の職氏名
町 長 世古口 哲哉 副町長 下村 由美子
教育長 下村 良次 総務防災課長 松本 章
まちづくり戦略課長 朝倉 正浩 税務課長 山口 隆弘
生活環境課長 西尾 仁志 住民ほけん課長 吉川 伸幸

健康あゆみ課長 西岡 郁玲 会計管理者(兼)会計課長 世古口 和也
産業振興課長 堀 真 建設課長 西尾 直伸
上下水道課長 坂口 昇 斎宮跡・文化観光課長 松井 友吾
教育課長 菅野 亮 こども課長 西村 正樹

10. 会議録署名議員

1番 奥山 幸洋 2番 松本 忍

11. 提出議案

議案第76号 令和2年度明和町一般会計補正予算(第8号)

12. 議事日程

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 一括上程した議案

議案第68号 令和2年度明和町一般会計補正予算(第7号)

議案第69号 令和2年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算(第3号)

議案第70号 令和2年度明和町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案第71号 令和2年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

議案第72号 令和2年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

議案第73号 令和2年度明和町介護保険特別会計補正予算(第3号)

議案第74号 令和2年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第75号 令和2年度明和町水道事業会計補正予算(第3号)

日程第3 議案第76号 令和2年度明和町一般会計補正予算(第8号)

日程第4 連合審査会の閉会中の所管事務調査の件

日程第5 委員会の閉会中の所管事務調査の件（議会運営委員会）

(午前 9時 00分)

◎開会の宣告

○議長（伊豆 千夜子） おはようございます。

ただいまの出席議員数は14人であります。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年第4回明和町議会定例会第6日目の会議を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

日程につきましては、お手元の日程表により進めたいので、よろしくお願ひします。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（伊豆 千夜子） 日程第1 「会議録署名議員の指名」については、会議規則第119条の規定により、議長から指名します。

1番 奥山幸洋 議員

2番 松本忍 議員

の両名を指名します。

◎一括上程した議案について

○議長（伊豆 千夜子） 日程第2 一括上程した議案について、

議案第68号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第7号）
議案第69号 令和2年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算（第3号）
議案第70号 令和2年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第71号 令和2年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第72号 令和2年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第73号 令和2年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第74号 令和2年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第75号 令和2年度明和町水道事業会計補正予算（第3号）

を議題とします。

この件につきましては、既に詳細説明が終わっておりますので、本日は質疑から行います。

まず、議案第68号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第7号）の質疑を行います。

歳出から行います。

黄色の表紙、予算に関する説明書、令和2年度明和町一般会計予算説明書の9ページから36ページ、第1款・議会費から第12款・諸支出金までの歳出全般で質疑を行います。

質疑される方はございませんか。

山内議員。

○11番（山内 理） おはようございます。

3点ほど確認をさせてください。

まず10ページの行政チャンネル費、備品購入費です。これ、ちょっと、よう聞かんだので、もう一回詳しく教えてください。

それと、次のページ、12ページ、これも上から17備品購入費、テレワーク自治体用備品購入、これ、iPadのことなのか、これもちょっともう一度すみませんけれども、教えてください。

それから3点目、30ページ、30ページのこれも備品購入費なんですけど、G I

G Aスクール構想導入事業の備品購入、情報機器購入とありますけれども、これもすみませんけれども、もう一度、聞き洩らしましたので、すみませんがよろしく願いいたします。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 私のほうからは行政チャンネル費の設置用備品購入についてご説明をさせていただきます。

この件につきましては、行政チャンネルの番組制作で必要不可欠であります編集機器等が劣化をしまして、動作等が非常に不安定な状況にありますので、新たに購入させていただきたいということで計上させていただきました。

機器の種類等につきましては編集機とその付属機器一式と、あと、ハンディカメラの関係、それと集音マイクなどを揃えさせていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。

○議長（伊豆 千夜子） まちづくり戦略課長。

○まちづくり戦略課長（朝倉 正浩） テレワーク自治体用備品購入についてご質問をいただきました。

こちらにつきましては、既にお認めいただいております議会等で使用しますタブレットの仕様の変更に伴う増額分、32台分の増額分の費用並びに会議で使います集音のマイク備品を1台購入するための予算となっております。

○議長（伊豆 千夜子） 教育課長。

○教育課長（菅野 亮） すみません、10—1—1のG I G Aスクール構想導入事業の備品購入費についてですが、これにつきましては生徒一人、児童生徒一人1台端末のG I G Aスクール事業の関係でございまして、そのG I G Aスクール構想事業の補助対象外のものなのですが、教師用のタブレット、これは補助対象外になっていましたもので最低数にしておったのですけれども、今回地方創生の臨時交付金のほうが充てられるということで、その台数の増をしています。教師用のi P a dの台数増。それと、その授業で使ってもらう65インチ型のテレビ、これを架台を含めて18台、追加でお願いをしております。

○議長（伊豆 千夜子） 答弁が終わりました。

再質問ございますか。

山内議員。

○11番（山内 理） ありがとうございます。

まず、その行政チャンネル関係ですけれども、これ編集機やら、ハンディカムも入っておるのかな、これはもう既に何年使っていたやつですか。現実問題何か不具合が起こりそうと言われたのか、起こったのか、もしくは放送事故が起きたのか。その辺もちょっと分かれば教えてください。

それと、議会用のiPad、これ、議員も含んでおるのでしょうか。なんか一説には、一時不調に終わったとか聞いていたんですけれども、それはうまくいったのでしょうかね。

それと、それから先生用のは含まれていないと、またおもしろい話ですね、要りますものね。テレビ、18台、足りるんですかね。各小学校で要るんですよ。各教室に。具体的にはどういうふうに、もし、テレワークでされるときに、単純にその各クラス、先生がおってわーっとやるんやと、各クラスに要ののちやうんかいなと単純に思うので、そんな、18台ごときで小学校5つ、中学校もあるのに足りんのかなと単純に思いました。また、その辺、もう一度お願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 今回の機器等につきましては、年数につきましては6年ほど使わせていただきまして、既にサポートが終了しているような状況でございます。故障により放送事故等は発生はしておりませんが、取材等の際に非常に不安定な状況でございます、担当職員がだましまし使わせていただいているような状況でございます。非常に高価なものでございますので、そういう状況で使ってはいたのですけれども、今回コロナ交付金を活用できるということになりましたので、この際整備をさせていただきたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○議長（伊豆 千夜子） まちづくり戦略課長。

○まちづくり戦略課長（朝倉 正浩） ご質問いただきましたタブレットにつきまして、まさに議会用の、議員の皆様あるいは執行部のこの32台というのがこのいわゆる予算書とかそういうのに活用できるようにするものでございます。今回の仕様の変更に伴いまして、いわゆる前の当初想定されておりましたのがいわゆるG I G Aスクールと同等のスペックのものでございました。それがまさに全然在庫がないということで、今回新しく導入するのは少し画面も大きくなる、仕様も大きくなって、例えば画面を複数処理、複数のページを開いても、例えば議員の皆様もご覧いただけるような、少しバージョンも良くなっているものにすれば入手が可能ということで、今回上げさせていただきましたのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（伊豆 千夜子） 教育課長。

○教育課長（菅野 亮） まず、教師用のi P a dなんですけれども、G I G Aスクール事業の最初の文科省の補助事業のほうは補助対象外になっていましたもので、学級数分だけに設定しました。それが臨時交付金で対象になるということで、先生一人ずつというわけではないのですけれども、台数をちょっと増やしたということでございます。テレビのほうなんですけれども、各教室にはそれぞれテレビが設置されていまして、これ、65インチで非常に大きいものですので、架台がついていますので、それで移動ができるということで18台というのはその学校数の人数に合わせて、ちょっと設定をさせていただきました。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

山内議員。

○11番（山内 理） 予算的に使えるというのがあったのでというようなことが本音なのかなとはふと思ひました。でも、事故が起きてからというのはちょっと非常につらいものがあるので、それはそれで有意義に使っていただければ結構かなと思ひます。

それから、G I G Aのは分かりました。よろしくお願ひします。

それから、先生のほうですけれども、全国的なことなので、一気にこれ、子どもにしても結局は実際授業をしようと思うと、今までの授業形態と違うので、先生ご自身がそういう授業の在り方というのが分かっていないとなかなか、機械だけ、ハードだけ揃えたってそのやり方が、やはり非常に難しいと思います。そもそもこれは難しい問題ですけれども、その辺もしっかりとフォローしてあげて、本当に結局子どもさんが一番良くなる方法を考えてあげてください。ありがとうございます。結構です。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方ございませんか。

綿民議員。

○9番（綿民 和子） すみません、2点ほどお聞かせください。

20ページなんですけれども、2節・給与、保育士運営費の中で500万からのマイナスなんですけど、いつもこのような形で上がっていると思い、もうちょっと詳しくお願いいたします。

それから、26ページの14節・斎宮きららの森維持管理で、これ、階段をされるということやったんですけれども、もうちょっと詳しくお願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） すみません、保育士のお給料の減額でございます。

人件費につきましては当初予算を計上する際に人事異動を想定して設定をしておるんですけれども、その中で今回保育士30名で予算計上しておったんですけれども、育児休業者が出たことと、あと、配置の関係でベテラン職員等と新人職員等との人件費の差でこのような減額が上がってきている状況でございます。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） すみません、きららの森でございます。

当初予算におきまして300万円の予算をお認めいただいております。残りの300万円につきましては教育課のほうの机、椅子の購入費ということの中でこ

ちらのほうへ財源を振り替えさせていただいて処理をさせていただきたいと考えております。

今、綿民議員から言われました場所的なものなのですが、一番上に公園がございます。遊具とか芝生広場がございます。その周りに少し低いところがございます。そのところから上がっていただくのに階段、木製の階段がつけさせてもらっております。その木製の階段をもう5、6年経ってきておりますもので、朽ちくしてきておりますもので、それを新たにさせていただいて、それから手すりがついておりませんもので、そこへ手すりをつけさせていただきたいと。それをその小学校の机や椅子で余ってきた、余ってきたという表現はあれですけども、残ってきたお金で森林税を充当させていただいて整備をさせていただきたいと考えているような次第でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問はございますか。

綿民議員。

○9番（綿民 和子） いつもこの保育所の先生のお金なんですけれども、この先生は現在足りているのですかね。この一人、多分一人やと思うんですけれども、この雇わなかったためにほかの先生が苦慮しているとかそういうことがないのか、ちょっとお聞かせください。

それと、先ほどの森林税でというのですが、他にみょうじょうこども園のあの裏山に使うとか、そういうふうなほかの案はなかったのかお聞かせください。

○議長（伊豆 千夜子） こども課長。

○こども課長（西村 正樹） 失礼します。

職員が足りているのかというところなんですけれども、先ほどの減額につきましては先ほどの減額理由になるんですけれども、人数的には正職とそれから臨時の先生方ですね、うまく会計年度職員の先生方で対応させていただいております。それで運営のほうは対応させていただいている状況でございます。

現在のその状況としましては、みどり保育所で正職は12名、それから臨時職員等を含めて全体で38名、それからささふえ保育所でも正職は12名と全体で38

名、それからこども園では正職は17名の、あと全体では55名の運営で今年度については、状況としましては運営のほうは足りているという状況でさせていただいております。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） この森林税の使い方なんですが、基本当初初めに各課のほうにこの森林、木を使って何かこういうことをするところではございませんかというようなご照会をかけさせていただいているような実情がございます。そのような中で、ほかにも私とこのマツクイムシとかそれにも予算を充当させていただいておりますし、今回というか、昨年度までは小学校の机を作らさるということの中で、全てそちらの予算のほうへ回させてもろとったような格好で、そこで今年から予算的に余裕が出てきたので、各課照会をさせていただいておったのですが、そういうお話はございませんでしたし、それからこのきらの森なんですが、自分も現場を確認させていただきまして、その木がちょっと腐りかけておって危ないような状況もございましたので、この12月というときに教育課のほうで予算が残ってきたということがございますので、今回補正をさせていただきまして、その危ない部分全部新たにさせていただきたいということの中で補正のほうをお願いさせていただいたような格好でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問はございますか。

綿民議員。

○9番（綿民 和子） ありがとうございます。

保育所の運営費、この500万円からというのですが、このほかのこの処遇の改善というんですか、やはり先生たち、子どもたちの命を預かっていると大変なお仕事やと思います。その500万円がその処遇の改善に使えないのかどうかということ、それだけ1点お聞かせください。

それから裏山の話なんですけれども、分かりました。ありがとうございます。

○議長（伊豆 千夜子） こども課長。

○こども課長（西村 正樹） 処遇改善につきましては、この今回この予算に上

げさせてもらっているところについては、正規職員、役場の正規の職員の金額というところで、その処遇改善のほうについては、今この賃金等については公務員の賃金表に基づいてお支払いをさせていただいておる状況でございます。ただ、会計年度職員のほうの臨時さんの職員のほうについては、処遇改善のほうが今のところは考えさせてはもらっていない状況ではございます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方はございませんか。

関連で。乾議員。

○3番（乾 健郎） すみません。

先ほどのきららの森なんですけれども、5、6年でもういかんようになったということですので、どういう木材でやってみえるのか教えていただきたいと思えますし、見積もりをどれぐらい、ちょうど振り分けた分だけでちょうどになったのか、余ったのか足らんのか。そこら辺はどうなのか教えてください。

それから、ついでに僕の聞きたいところもよろしいですか。

すみません、その下の松阪牛ハンバーグでご説明ありましたね、コロナウイルス感染対策で。前にもハンバーグをやってもらっておったもので、ほかに何か違うものをしてもらうというような考えはなかったのか教えてください。

というのも、あれを見たら製造が富山県になっていましたもので、そういうのはどうなのかなというところもありまして、ちょっとお聞きします。

それから、28ページの上の段で土木総務費のここの給料の件なんですけれども、この技術職員と10人というのはどういう意味か教えてください。よろしくお願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） まず、このきららの森の階段の件でございますが、こちらは平成24年というか、宮川の二期事業所が設置していた工事でございます。丸太10cm、延長1 m50cmぐらいのを2段置いて、そこへ木のチップを置いておるような状況でございました。そのために、木、雨が降ればやはり腐っていくというような状況の中で、そこら辺が横のほうに腐ってきておるという

のが今の実情でございます。今回は防腐剤も入れさせていただくのと、それからチップのところをコンクリか何かで押さえさせていただきたいというように考えておりますし、それから手すりがないので手すりをつけさせていただきたいということの中で考えておるような次第でございます。

それから、予算的な話でございますが、この今認めていただいております600万円の中で東屋とこちらのほうは全て仕上げさせていただきたいということの中で600万円の予算を計上させていただいておりますような格好でございます。

それから、ハンバーグの関係でございますが、富山県というお話なんです、生産者としてはここで作った松阪の牛ということの中でこれは40%以上混入させていただいておりますということの中で、他のものという話で、このハンバーグの前も教育課といろんなことで肉、何か使うもので何かいい方法はないか、ステーキ出せやんのかとかといろんな話もさせてもろたのですが、ただ、学校の現場で短時間、朝8時半から始まって昼には給食を出さなあかんという中で、なかなか制約があって、湯煎程度で何とか処理ができるぐらいでしか、なかなか処理ができないということの中で、松阪牛、牛とこだわるのであればハンバーグということの中で処理をさせていただいた格好でございます。

それから、この関係ですが、委員会等でもご報告させていただいたのですが、子どもらから非常に好評であったということもございしますので、そこら辺も含めた中で12月での予算的に目途がついたということの中で、第2弾ということの中で170万円の予算をお願いさせていただいたということでございしますので、ご理解賜りたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 土木総務費の技術職員等の関係でございますけれども、職員の人件費につきましては職員一人一人、科目に振り分けて予算を設定するのですが、この土木総務費の技術職員等には建設課の職員と、加えて上下水道課の一部職員を土木総務費のほうへ割当てをさせていただいております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問はございますか。

乾議員。

○3番（乾 健郎） ありがとうございます。

この材木の種類によって腐りやすい木と腐りにくい木とあると思うんです。例えば齋宮跡なんかは、このすごく腐りにくい木で橋やそういうところを造っていただいておりますけれども、私もこのきららの森へ行って階段、あの階段、よう遊びに、子どもらと使うんですけれども、もう本当に中が抜けていますよね。ですもので、塗装やそんなのも含めて、もうちょっと耐久性を増すやり方が考えられないのかということも考えてもらえんかなと思ひまして。これ、三重県産の木なんですか。多分そうやと思うんですけれども、そこら辺でいうたら間伐材のやつでやっておるように思うんですけれども、この耐久性が5、6年ではちょっとかわいそうかなという気もしますので、今後のためを思ってもうちょっと研究してやってもらえんかなと思ひますので、よろしくお願ひします。

それと、ハンバーグなんですけれども、分かるんですけれども、地元で作らすことはできないかなという気がすごくしましたもので、なんや、富山県かというのが第一の頭にありましたもので、僕も頂いておいしいのはよう分かってますんやけど、その辺がありましたもので、何とかこういうのやったら地元で作ってやってほしいなというのがありましたものでお聞きしたのですけれども、これには県の補助も入っているんですか。その辺も教えてください。

○議長（伊豆 千夜子） 最初の2点と県の補助と3点答えで。

産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） すみません、まず、部材の関係でございますが、こちらは森林税を使うということでございますので、木を使わなければならないということで、ここはご理解いただきたいと思ひます。それで、今言われるように部材的には何がという、自分も技術者でございますもので、松とかそういうのを使わせてもらって、水にも強いというようなことも分かっております

ので、そこら辺も一回、何を使ったら長いこともつのかということを一回検討させていただきたいというふうに考えております。

それから、このハンバーグのここら辺で作れないかという話なんです、今後も未来永劫こうやって作っていく、これをやっていくという話になるとまたそういう協議もできるか分かりませんが、今回これで2回目で来年度以降どうなるかということも分かりかねますので、富山県で作っておるものということでは申し訳ないのですが、ここら辺の産地の物を使っているということの中でご理解賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（伊豆 千夜子） よろしいですか。それと県の。

○産業振興課長（堀 真） すみません、申し訳ございません。

こちらはハンバーグの関係は交付金の関係、コロナ関係の交付金を全額充当させていただいておりますもので、県の補助金というのはございません。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

乾議員。

○3番（乾 健郎） 確かに5、6年ではかわいそうですもので、この辺十分、塗装も含めて考えていただきたいと思います。よろしく願いします。

ハンバーグ、コロナ禍だけなものでという形はこの辺で作っておらんのかなという気がすごくしたもので、よろしく願いします。

○議長（伊豆 千夜子） よろしいですか。ほかに。

関連。奥山議員。

○1番（奥山 幸洋） 20ページなんですけれども、1点でよろしいんですけれども、一つ答弁をいただいたので、一つは処遇改善を考えていない。これは、処遇改善というのは常にやっていかないかんとします。ですので、この答弁は教育長にこの改善について答弁をいただきたいと思います。

それと、もう1点、この課長の答弁で人事異動は理解できます。休業、休業でこれだけの予算が減額されておるので、休業というのはどれだけやったのか教えてください。この2点です。

○議長（伊豆 千夜子） 答弁、教育長。

○教育長（下村 良次） 処遇改善についてのご質問をいただきました。

大変難しい状況の中なんですけれども、しっかりやっていかなあかんなどは思っておりますので、しっかりともう一度検討していかなあかんと思っております。

それから、先ほど質問いただいた部分と重なってくるのですけれども、保育所のほうの関係のことに関しましても含めて、やはりどういう形で処遇改善も含めて充てていくかも含めて考えていかんといかんなどは思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） すみません、休業の関係でございますけれども、病気休暇が2名、それと育児休業に入った職員が3名と、あと、当初予算にみっていた職員が年度末に退職をした関係で大きな減額となったところがございます。

以上です。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問。

奥山議員。

○1番（奥山 幸洋） すみません、ありがとうございます。

処遇改善については、やはり考えていないではいかんと思ひますので、教育長さんから答弁いただいたように処遇改善は取組んでいただくということで要望させていただきますので、ぜひともよろしくお願ひいたします。

それから、この休業の関係につきましては退職者が大きいということで、金額については理解をさせてもらひます。

以上です。ありがとうございます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。

松本議員。

○2番（松本 忍） 2点ほどお伺ひします。

まず、10ページ、総務管理費のところでは17番備品購入費、感染対策用の備品購入で空気清浄機を買われるということですが、それは何台買われて、スペックがどんなものでどこへ今のところ設置を考えて、ざっとは聞いたのですけれども、もっとほかに細かいことを教えてください。

それと、26ページ商工費、負補交のワーキングスペース等環境整備モデル支援事業補助のところではちょっと詳細のほうを教えてくださいたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 財産管理費の備品購入でございます。これにつきましては空気清浄機器等ということで、主な目的としましては庁舎内の会議室とかこの議場であったり、また、会議室、中央公民館、総合体育館等の公共施設に設置をさせていただくものでございます。機器の内容でございますけれども、一応大きい部屋用と中ぐらいの部屋用ということで、一応今考えておるのは100畳用の機械が4台、それから50畳用程度のものを5台考えております。常に設置するのではなくて、イベント等々で移動もさせたりする、臨機応変に対応させていただきたいと考えております。一応空気清浄機器ということなんですけれども、一応オゾン発生器を考えております。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 斎宮跡・文化観光課長。

○斎宮跡・文化観光課長（松井 友吾） 失礼いたします。

ワーキングスペース等環境整備モデル支援事業補助の関係でご説明をさせていただきます。

こちらのコロナ感染症対策の地方創生臨時交付金の事業としまして、新たな働き方に対応した取組で空き家等を活用し、地域の活性化を図るものを支援する事業費を計上いたしております。

支援額の上限は100万円としまして、空き家等を活用した場合は上限200万円ということでございます。支援を受けた者は最低3年間は事業を継続していた

だくということを基本的に考えております。例えば、一般の方が斎宮のにぎわいづくりをするために空き家等を整備したり、あと、協力隊が協働で空き家を利活用し、活動できるような支援に利用していただいたり、既に整備されていた環境にネットワーク環境を整備したりワーキングスペース等を造っていただくような事業を考えております。

支援対策費の内容としましては、ネットワークの環境整備やワーキングスペース等環境整備、あとは空き家のリノベーション整備、あとは空き家、空き店舗の購入費などを考えております。

ワーキングスペース環境整備といいますのは、結局事業スペースや会議室、打合せスペースなどを造る、仕事場を持たずに働ける環境を整えるものでございまして、空調設備や水回り、ユニバーサルデザインとしての障がいのある方、ご高齢の方などバリアフリー化でありますとか、あと、洋式トイレにする整備事業なども含んでおります。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

松本議員。

○2番（松本 忍） まず、備品購入費のほうなんですけれども、これは常時設置はしないということで課長は言われていましたね。事務所とかは、それは置かないのでしょうか。

ワーキングスペース等の関係は、今、これ、いろいろと希望されている方とかそういうのは今のところみえるんですかね。分かっていたらその件数とどんなものをやりたいかというのが分かっていたら教えていただきたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 基本的には常時設置をする場所というのは決めておいて、あと、イベント等々で人が集まる機会があるところについてはそちらを優先して移動させたりとかいうふうにして設置をさせていただきたいというふうに考えています。

○議長（伊豆 千夜子） 齋宮跡・文化観光課長。

○齋宮跡・文化観光課長（松井 友吾） 既にお話いただいているケースがございまして、例えば空き家を利活用した事務所スペースを造られる話でありますとか、あとは既にあるそういった仕事場ですけれども、今回の通信の関係でありますとか、そういったところの環境整備をしたいというふうな話が今のところ3件、4件ほどいただいております。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

松本議員。

○2番（松本 忍） 空気清浄機の件ですけれども、これ、大きなのが4台、9台ですか、考えられておるといことなんですけれども、これからまた細かい公民館とかいろいろありますよね、細かい部屋が。それも空気清浄機の人の出入りがするところには置いていただいたほうがええと思いますので、これは要望ですけれども、考えていただきたいと思います。

それから、このワーキングスペースの関係ですが、これ、500万円で大体何件をめどに考えているのか、それから将来的にも、これもコロナの関係ですよ。単年度で終わっていくのか、それもちよっと教えていただきたいと思ます。よろしくをお願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） すみません、事務所と等々の空気清浄機の関係でございすけれども、このオゾン発生器とは別に加湿器、加湿器のほうをこの財産管理費の感染対策用消耗品費のほうで今回購入の予定をしております。その加湿器については湿度を40%以上保つことが感染力を弱めるというような話もございすので、そちらのほうで対応もさせていただくことを考えておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（伊豆 千夜子） 齋宮跡・文化観光課長。

○齋宮跡・文化観光課長（松井 友吾） 事業は、今年度のコロナ対策の臨時交

付金を充てさせていただきますので、一応今年度事業ということで、来年度以降は今のところはちょっと検討はしていない状況でございます。

それとあと、1点目の質問はどういうことでしたっけ。今、ちょっと私2つ目の話をさせていただいて、1件当たりですか。

実際お話いただいている事業の話をしていただいている方は、空き家を利活用した件でございますと、やはり最高額の200万円で頭打ちになりますので、200万円ぐらいかかってくるのかな。もちろん手持ちとか自己負担ももっと多いわけでございますので、そういった額がかかってくるかなと。あとは、通信であるとかそういったW i - F i とかそういった通信関係の整備費では、もちろんそんな十数万円とか、そういった額で納まるのかなというふうな感覚でございます。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方ございませんか。

江議員。

○7番（江 京子） すみません、3点ほどお願いします。

まず、17ページ、18ページの障がい者福祉費の負担金交付金、児童発達支援センターの開設の負担金ですが、旭ヶ丘幼稚園の跡地を改修されると思うのですが、具体的にどこら辺をするのか教えてください。

それから、その下の保健福祉センター費、これ、コロナ対策で有症者避難施設整備事業の一環と聞きましたが、災害が起こったときにどんなふうな対策をそこで取るのか教えてほしいと思います。

それから、23ページ、農林水産費、18節の負担金及び交付金で、ジャンボタニシのことだと思うのですが、54件というふうなお話でしたが、営農センターでも用紙をもらえるように置いてもらいましたが、それだけの申請しかなかったのかなというふうに思います。ただ、農家の方から聞くと、なんか情報がうまく伝わってなくて、個人では駄目と思って諦めたというふうなお話も聞いていますので、これからの取組も教えてほしいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） まず、児童発達支援センターの開設負担金の件ですが、こちらにつきましては、もともと旭ヶ丘幼稚園は教育施設という形になっておりまして、今回児童発達支援センターに変わります点で、児童福祉施設という形で用途変更という形が必要となりました。そのため、廃園施設の整備が必須であるということがございまして、そちらの分を増額補正という形でお願したものでございます。

それから、保健福祉センターにつきましては、今回コロナ対策としまして、コロナで、あるいは発熱等の有症状があったり、あるいは濃厚接触者、接触者といわれる方が有事に避難されてきた場合、中央公民館等ではなく保健福祉センター等の建物を別にすることで、そちらを避難所として運営をさせていただくという形を取らせていただくということで、検温機器であったりそういった感染対策のものを上げさせていただいたということになっております。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） すみません、ジャンボタニシの件でご説明させていただきたいと思えます。

本年54件の申請があったということの中でご報告させていただいたところでございます。

昨年は補正もさせていただいていなかった中で、今回は補正をさせていただくということの中で件数的には増えてきているのかなというふうには考えさせていただいております。それから、ジャンボタニシの説明の中でこういう文書を作らせていただいて、今年については認定農業者さんと大きくやってもろとる方については今まで5万円の上限を10万円にさせてもらいますよということを、ちょっと大きくアピールをさせていただいたことによって一般の方はもらえやんのかなというふうな錯覚を言われたのかなというふうには考えているような次第でございます。

このジャンボタニシですが、町長の知事との一対一対談でもございましたが、

ここだけの問題、明和町だけの問題ではなくて、松阪からこちらへ農機具についてきたかとかいうふうな事の中で、今多気のほうにも広がっているような状況もございます。これから圃場については、この農家の皆様方で対応は何らかの格好でできるのですけれども、用水路とか排水路にあるこの件は何とするんねということについても、今松阪の農業の普及と話をさせていただいて、方向性を見出していて、周知をさせていただかなければならない、できれば多面的とかそんな事業の中でこういうものはできないのかなということも今、協議をさせていただいているような次第でございます。

今言われますように周知が足らんと言われれば周知が足りないような状況があるかと思えます。もう少し丁寧にはさせていただきたいと思えますけれども、今のところそういう状況の中で、今回この冬になってくると石灰をまいていただいて、攪拌することによってジャンボタニシを殺していただけるということになってまいりますので、そこら辺についても再度周知をさせていただく中で、このコロナ対策のほうを実施していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思えます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

江議員。

○7番（江 京子） 用途変更をしなくてはいけなかったということなんですけれども、この事業って国からこんなふうにしなさいというふうに来ていたところで、国からの補助というのはこの件についてはなかったのか教えてください。

それから、福祉センターですけれども、自動ドアの部分も入っていたと思うのですが、そこら辺、自動ドアの部分もそのコロナ対策のほうで行けたのかどうか、再度確認お願いします。

それから、ジャンボタニシですけれども、やはり大台、多気のほうの友達からもおるんやさというような話を聞いていますので、やはりこの地域だけではなくて県全体でもうちょっと取り組んでほしいのと、農家の人と話をしていると石灰をまくのがいいんやけれども、何回も起こす、結構去年は1メートル下

ぐらいまでおったというようなお話もあって、なかなか起こすのも大変やし、肥料がなんというのかな、一発というのをを使うので、石灰が残るというのも不安の中というので、また対策としていろいろ考えてもらって進めていってほしいと思いますので、お願いします。要望で。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） この用途変更に伴う国の補助金というのはございません。

それから、自動ドアの件ですけれども、こちらもコロナ対策の交付金のほうに対応できるということで、換気が要ったりとか避難開設の部分で必要だということになりますので、そちらで交付金対応という形でさせていただいております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。よろしいですか。

ほかに質疑される方ございませんか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） 10番北岡、よろしく申し上げます。

10ページなんですけれども、行政チャンネルのことなんですけど、先ほど機器については山内議員がいろいろお聞きをされました。年数がたてば故障するんだというふうには思いますが、行政チャンネルを始めてもう15年近くになってくるのかなというふうには思うのですが、その当初、その行政チャンネルというのは、やはりまずはケーブルテレビの加入率も上げながら進めていくんだというお話がありました。当初から始めて何%上がったのか、それに対してこのコストの面でどこまで続けていくのか。そこら辺の検討課題。当初私、議会運営委員長で議会の放映をするから、議会の関係のことをしっかり力を入れたいからこの行政チャンネルを進めてくださいということで頼まれて、導入に踏み切っていただきました。そこら辺、その中での質疑でちゃんとしっかり視聴率を上げていくんだというお話があってここまでやってきたとは思いますが、けれども、町長、財政大変厳しい折にこの行政チャンネルの取扱い、自分自身

でどんなふうにお考えなのか、ちょっとお伺いをしたいというふうに思います。

これはちょっと議案とは関係がないのでちょっと議長のお許しを得たいのですけれども、よろしいですか。

総務防災課長の中から、この行政チャンネル費の機器に対して故障が起きた場合、住民の皆さんに大変ご迷惑をかけるというふうに言われました。住民の皆さんにどんなふうな迷惑がかかるのかなというのが1点確認をしたいのと、この議会のこの会議録システム、これ、もう相当前から故障が頻発しております、トラブル発生しております。一番迷惑、これ、故障して3月議会で故障しますと当初予算を全く認めることができなくなります。議会が全て停止します。これ、行政チャンネル、この行政の会議システムを取り替えるのに何か月かかるのか検討されておるのでしょうか。それをどんなふうに進めていく気でおるのか、ちょっと機器の関係でございますので、併せてお聞きをしたいなというふうに思っております。

次に、12ページのテレワーク自治体用備品ということで購入をやっと決めていただきました。ありがたいことやというふうに思っていますが、このコロナ禍でテレワークというのが行政の中でも広がってきております。もし、課長さんらが感染した場合、議会もそうなんですけれども、お家で、要するに逆にこれはテレビ会議で自分の担当の職員さんに指示を出したいとかというのできると思うのですけれども、そこら辺の、逆に言えばテレワークを進めるための要綱だとかそういう制定が僕は必要ではないかなというふうに思うんです。機器は購入していただきましたが、その次の手、もし、産休等大変な、急に休まないかんという担当課長さんがおって、また、これから職員さんにも広げていくかもしれませんけれども、コロナ禍の中で。このテレワークをするための要綱制定をしっかりとしながら自分たちの自治体のICTの推進をやっていないかんのやないかなというふうに思うのですけれども、そこの考え方の確認をさせていただきたいと思います。

あと、あちらこちらで学校給食のトイレだとか洋式化という話がありますが、

これ、どう無いんでしょうね。和式の便器はもう無くなるということによろしいんでしょうね。そこら辺のコロナ対策として和式便器をトイレの洋式に変更するというので説明を聞きましたので、そこら辺の確認をしたいと思います。

あと、26ページの齋宮跡きららの森の維持管理費で、ちょっと私聞き間違えたかなと思ったのですけれども、どこかの部分的にコンクリートをするとかという話があったと思うのですけれども、その部分をコンクリートはどういう部分で使われるのか。ちょっともう一遍説明をちょっと聞き逃してしまいましたので、確認をしたいと思いますのととも森林税の活用ということで、今回総務産業常任委員会で防災の津波避難タワー、これに関してベンチを設置するという総務防災課長のご返答がありましたけれども、そこら辺、ベンチもすっかりとこの森林税を活用しての木製のベンチの設置とかできると言うんですけども、そこら辺どんなふうに、総務防災課長、設置する方向性でと言っていましたけれども、そこら辺申請があったのか、要望があったのか、ちょっと確認をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

あと、30ページのG I G Aスクールの情報機器購入なんですけど、先ほど説明いただきまして、全ての先生に渡せるわけではないみたいなお話があったと思います。あと不足分というのはどんなふうにこれからしていくのかという、やはり先生全て持ってこそ、このG I G Aスクール、進んでいくんやというふうに思いますけれども、そこら辺のあと残り、どんなふうに、残りの台数がどのぐらいでどんなふうに推進していくのか、お考えがございましたら教えていただきたいと思います。

32ページ、備品購入費で木製の机、椅子が重たいからとか傷がついているからとか傷んでいるからとかという話がありました。私は自分の小さい頃は木製の机と椅子で、先輩方の落書きや傷つけたのが、ああこれは一つの思い出なんやなと思って喜んで感じておりましたけれども、逆にこれをまたスチール製に戻すということでお聞きをしました。この机をこれから全て、毎年スチール製に切り替えて購入していくのか、いやいや、この1年生、2年生だけの部分で、

あとは使い回しをしていくのか、これはちょっと聞いていなかったものですかから教えていただけたらと思います。毎年購入するのかどうかです。ちょっと確認をさせてもらいたいと思います。

最後に、先ほどから職員給与の給与費の問題なんですけれども、給与費明細とこのそれぞれの項目で、人員数とか金額とかも非常に分かりにくいし、皆さん方、担当課長さんは説明をしようと思えばできるのでしょうけれども、この一覧をもらっても私は非常に分かりにくいなというふうに思います。

あと、会計年度職員については当初と12月しかございませんので、その分ここでどんだけ累計しても全く合わないというふうに思います。何でかなと思ったら、やはり6月とか9月のところで計上されていますので、人数の変動はすぐくされておると思うので、そこら辺もっと分かりやすいこの計上の仕方をさせていただくのとともに、職員さんの給与のほうももうちょっと分かりやすいような明細表にしていただけたらなというふうに思うのですけれども、そこら辺のお考えをお示しいただきたいと思います。

以上です。

○議長（伊豆 千夜子） 町長。

○町長（世古口 哲哉） 行政チャンネルの方向性についての私の考え方ということがありましたのでその点、あと、加入率とかはまた、総務防災課長のほうから答えていただきますけれども、いろいろ行政を、関係、当初はその議会のほうのということもあったとは思いますが、いろいろその行政チャンネルを活用させていただいて、いろんな広報をさせていただいております。やはり、先ほどのジャンボタニシの話もありましたけれども、いろんなところで広報のツールというのには必要かなと思っておりますので、やはりその一つの手段として行政チャンネルというのには必要なものかなというふうに思っておりますので、コストも多分にかけてという話はちょっと難しいかも分かりませんが、やはりやっていく必要があるかなと思ってます。松阪ケーブルテレビのほうに行かさせてもらったときに、明和町は結構行チャン、視聴率が高いと、

加入率はちょっと別かも分かりませんが、視聴率はすごく高いというふうに聞いておりますので、やはりその視聴率が高いものを、やはり続けていくというのは、やはり必要かなというふうに思っております。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 私のほうから行政チャンネルの加入率の件でございます。

平成24年の当時37%の加入率がございます、現在は42%ほどの加入率ということで、微増というか増えているような状況でございます。

あと、私のほうからその町民の皆様にご迷惑をおかけするという意味の話ということなんですけれども、機械が故障すると多額の公費を導入することになるという意味でちょっと申し上げさせていただきました。よろしく願います。

あと、費用の面で毎年行政チャンネル、これは費用としましては人件費を含めまして2,000万円ほどかかります。この中で、今回カメラとか編集機等々を経費に計上させていただいておりますけれども、一番高いのが送機の機械ということで、編集した機械を松阪ケーブルテレビのほうへデータ発信をしているとかする機械が非常に高くなります。この費用に関しましては明和町だけの問題ではなくて、近隣市町も同じような問題を抱えておりますので、今現在松阪ケーブルテレビを中心に近隣市町でその費用の持ち方について検討させていただいているところでございますので、よろしく願います。

○議長（伊豆 千夜子） まちづくり戦略課長。

○まちづくり戦略課長（朝倉 正浩） 自治体 I C T のテレワークに関してご質問いただきました。

こちらについても、特に職員に向けても現在試行実験とか様々な形を行っておりますが、今後、やはりご指摘のとおり本格運用に当たっては、やはり要綱等の制定が必要になってまいります。実際に在宅勤務しますと、例えば勤務の確認はどうするんだとか、公務災害とかそういう確認はどうするんか、あるいは

はセキュリティーの漏洩の問題とか、様々なことを要綱で定める必要がございますので、今後また人事担当部局なり情報、一緒ですけれども、担当部局それぞれ調整した上で整備を図ってまいりたいと考えております。

○議長（伊豆 千夜子） 教育課長。

○教育課長（菅野 亮） 30ページですけれども、まず、給食室専用トイレのほうですけれども、こちらは給食室の専用トイレがあるところの便所、トイレだけ和式から洋式に変えるという予算でございます。その他の学校につきましては、職員専用トイレに洋式がある、または多目的トイレを使う等で洋式のトイレを利用してもらおうというような形で対応していくということで、まずは給食室専用トイレがある下御糸小学校、斎宮小学校のトイレの改修ということでございます。

また、幼稚園の給食のほうはまた、こども課長のほうから答弁があると思います。

2点目のG I G Aスクール事業のほうの教師用タブレットの不足分ということなんですけれども、今回の補正で37台を予定しております。この台数につきましては各学校から要望書、調書をいただきまして、その数字に基づいてやっていますので、ちょっと私、先ほどの答弁、全てに行きわたるというのではないというちょっと言い方をしたもので、ちょっと誤解があったと思うのですが、必要な、授業等で必要な台数分はこの補正の37台で確保するというように考えております。

それから、机、椅子ですけれども、こちらは新1年生の分ということで、これは毎年購入でございます。6年間これからかかっていくということでございます。2年生から6年生までは木製の机、椅子を使いますので、この1年生を利用する予定でありましたから、今年の卒業生の分です、これはストックをしておいて、もし、壊れたりとか使えなくなったりした場合に充てるというような形でストックしていくような考え方でございます。

○議長（伊豆 千夜子） こども課長。

○こども課長（西村 正樹） 失礼します。

先ほどの幼稚園と、それから今回保育所のほうの和式から洋式のほうへ変えさせていただくんですけれども、今現在給食室のほうに専用のトイレがございます。そちらのほうは1カ所、1つ1カ所ありますので、そちらのほうをちょっと改修させていただくということで、こども園のほうはもう既にもう洋式化になっておりますので、3カ所をちょっと改修させていただくという内容になっております。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） 失礼いたします。

まず、階段工の関係でございますが、1,500の丸太2本を縦に置かさせていただきまして、踏面が400ございます。その踏面のところが一番やはり歩くことによって劣化というか、一番荒れやすいところでございますもので、こちらについてはコンクリートで納めさせていただきたいということで考えさせていただいたような次第でございます。

それから、もう1点、防災の防災タワーについてのベンチの関係でございますが、まだ、来年度の予算、十分対応できますので、ちょっと防災の課長と話をさせていただく中で対応させていただきたい。ただ、こちら森林税でございますので、森林を使っていたかなあかんという用途になってくるということで、中では対応になりますが、協議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） すみません、まず機械の関係で答弁漏れがございました。

議会の収録機器の関係につきましては、現在議会事務局と連携をしてどう対応を取るかというのを検討させていただいている最中でございますので、よろしくお願ひします。

あと、行政チャンネルの関係の少しでも収入に上がるように広告を配信させ

ていただいております。まだ1件、今回初めて放送させていただいたような状況でございますけれども、そういう部分でも収入のほうを上げさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

あと、給与費明細書の関係でございます。ご指摘いただいたように今回の予算書につけさせていただきました給与費明細書については、当初予算と12月補正との比較という形で上げさせていただいております。その関係で数字が合わない部分も出てきておりますので、その辺を踏まえて今後その人件費等々に異動があった場合にはこの予算書に給与費明細書をつけさせていただくようなふうに考えさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

あと、様式につきましては一応地方自治法の中で決められた様式を作らせていただいておりますので、その辺りもご理解をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（伊豆 千夜子） 答弁漏れございませんか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） では、また10ページに戻ります。

行政チャンネルに関して、微増ではあるがこの十何年間かけて上がってきたというのも、これは確かなのでございますが、要するにまだ、加入率半分にはいっていないということですね。どこを目指し、どんなふうにそれを拡大していくのかというのが皆さん方の宿題であって、私たちはそれをチェックするだけでございますので、宿題があるんだということを忘れないでほしいと思えます。加入率をアップしながら、要するにコストとコストをかけながらちゃんとそういう情報を流すということがどんなに大事なのかということです。そこを一遍しっかりと留め置いていただきたいと思いますと思うのと同時に、この前山内議員が何か、大分前なんですけれども、視聴率は分からないというふうな話があったと思うんです。視聴率そんなんやという。それは分からへんという話が確かに議会の質疑の中であったと思うのですけれども、今、町長言われると松阪ケーブルテレビに行くと、視聴率の高いやら低いやらと分かるというふうに言

うんですよね、行政チャンネル。それって、どんなふうに分かるのか、もしご答弁できるならしていただきたいというふうに思います。先ほどたしか言われましたよね、松阪ケーブルテレビに行ったら明和町は行政チャンネルの視聴率が高いんやと。それはどこを見て、どんなふうに松阪ケーブルテレビが取っておるのか。逆に言えば、それはちゃんと私たちのほうに報告いただかんと、見ているのか見ていないのか分かりませんよね。そこら辺どこかでちゃんとチェックをさせていただきたいと思います。

12ページのそのテレワークのひとつ要綱、しっかりと作っていただきまして進めていただきたいと思いますし、コロナ禍でも対応ができるようお願いしたいと思います。

給食室専用トイレの改修なのですが、給食室専用のトイレがあるところは改修しましたというふうになんか言われましたよね、課長。学校給食法で給食室に専用トイレなければいかんのちがいますか。と僕はたしか前に学校給食のことをちょっと勉強、読んでおったときに、なんか専用トイレなければいかんと思います。なんか、ないものはあたかも当然のようにしゃべられると困るなどというふうに思うのですけれども、ちょっと一遍、確認をお願いしたいと思います。

あと、先ほどのコンクリートの部分です。踏面をコンクリートにして安全性を保ちたい。お気持ちは非常によく分かります。ちょっと考えていただきたいのは、せっかく木のものがありますので、その間の踏面も木のチップを敷いていただいて樹脂で固めるという工法があるよね。これは、長野県の上松町やったかな、僕、行ったことがあるんですけども、視察で、非常に踏み心地がよくて歩き心地がいいと思いますので、耐久性がどのぐらいあるのかちょっと一遍確認していただいて、できましたらコンクリートやなくてそういうものを使っていたかとありがたいなというふうに思うのですけれども、課長の答弁をお願いしたいと思います。

すみません、話をちょっと聞くのを忘れていましたので、ここで質問させて

もらいたいと思います。

32ページの中学校の施設管理で電気料がエアコンプラス換気という話なんですけれども、全体、小学校も中学校も一緒なんですけれども、開けっ放しにしておいて換気をしていますよというのと、一定時間、たしか決まりがあると思うんです、換気回数って。コロナの、コロナ対策の推進本部ですか、対策推進本部か何かの指針の中にも開けっ放しにせいとか言うてないと思います。換気回数をこれだけ維持しましょうとか、閉めてもいいので、何分間に一遍、10分や20分に一遍開けましょうというのと、このここの対応でこの電気代とかというのはまるっきり変わってくるというふうに思うんですけれども、そこら辺の対応策というのは教育委員会は考えながらこの予算計上をされたのか、ちょっと確認をしたいと思います。

あと、給与法に関しては、これはいろいろ自治法上の問題点があるかも分かりませんが、私たちはチェックをする立場でございますので、もうちょっと分かりやすい明細をつけていただくなり、先ほどもいろんなところで人数が出とるけれども、金額は全然違いますよね、10人で何百万とか20人上がったけれども、十何万とか、そういうのが分かりにくいので人数を変にそこへ計上すると混乱が起こりますから、それがもっと分かりやすい明細書をつけていただけたらというふうに思います。説明責任はそちらにありますので、私たちは理解をしながら納得をして議決をしていくという立場でございますので、ひとつよろしくお願いをしたいと思います。

会計年度任用職員について、ちょっと最後にもう一遍聞きたいと思いますが、期末手当に関してです。この会計年度職員制度を始めたときに国は方針を出して、国が決めたわけです。それに関して期末手当を出しなさいということで、それについては国が出しますということで方針で流れてきました。たしか、明和町よりは財政が非常に厳しい三重県が3.5出していますね。周辺自治体に足並みそろえたんやと思いますけれども、明和町は1.75で止めていますよね。そこら辺いかなものかなというふうに僕は思うんですけれども、財政力とか関

係なしに期末手当ちゃんと国が補填するというので、約束をしてこれは始まったはずなんですけれども、そこら辺の国とのやりとりだとか県からの指示だとか、県とどんなふうに調整していくのかとかというのは話合いはされておるのか、その辺、もしどこかが、よそが3.5出し始めたら、保育職員なんか特に逃げ出しますよ、明和町から。そこら辺どんなふうに考えてみえるのか教えていただきたい。いや、国は3.5持ってくれませんのや、1.75しか出せませんのやとか、何か基準があつてこんなふうにされておるのか、ちょっと教えていただけたらありがたいです。

以上です。

○議長（伊豆 千夜子） 町長。

○町長（世古口 哲哉） 行チャンの普及率のアップにつきましては、松阪ケーブルテレビのほうとタイアップしながらどういった形でやっていくかというのは考えていって、進めていきたいというふうに思っています。広報の一つのツールだと思いますので、進めていきたいと思えます。

私の視聴率、視聴率と言うたのがちょっとおかしいのか分かりませんが、私がその松阪ケーブルに行ったときに松阪ケーブルの方から明和町はたくさん見てもらっていますということでしたので、私としては視聴率が高いのかなというふうに思いました。ただ、その調べられたのかどうかというのはちょっと、先ほど聞いたら、前は機械がないので調べられないという話でしたので、ちょっとそこら辺は確認させてもらいたいとは思っていますけれども、ただ、私が行ったときにはたくさんの方、明和町の方はたくさんの方に見てもらっていますものという話でしたので、あ、視聴率高いのかなと単純に思いましたので、そこら辺ちょっと、視聴率という形で言いますと、ちょっと間違いかも分かりませんので、そこら辺ちょっと確認させていただくということでよろしくお願ひしたいと思えます。

○議長（伊豆 千夜子） 総務防災課長。

○総務防災課長（松本 章） 会計年度任用職員の期末手当の件でございます。

一応国のほうから正規職員と同じ2.6月支給をしなさいという指導というか、話が来ておる中で明和町については、今年度については1.45という形で、正規職員の再任用職員の率に合わせさせていただいたような状況でございます。これについては、文書なりで国のほうから正規職員と同じ支給率にすべきであるという指導ではないんですけれども、助言というような形でいただいております。本来でしたらいつも夏ぐらいに県と町とヒアリングをしながらその辺の町の状況を話をして、本来としてはその場で国と同じ2.6に上げなさいよという指導を受けてというやりとりをする機会があるんですけれども、今回そのコロナ禍の関係でその辺ヒアリングの流れでの状況になっておりますので、今後その辺国と違うところは指導されることになると思いますので、検討のほうはしていかなければならないと思っております。期末手当の支給率については、一応各市町の裁量の中で設定をしなさいという当初話がある中で、明和町は1.45にさせていただきまして、国、県と同じように2.6、正規職員に合わせているところもあれば1.0という低い設定をしている市町もあるということなんですけれども、基本的には国にそろえるという指導がこれからも来ると思いますので、その辺りは検討しなければならないというふうに考えております。

○議長（伊豆 千夜子） 教育課長。

○教育課長（菅野 亮） すみません、私のほうから電気代のほうの答弁をさせていただきます。

このコロナ禍の中の冷暖房の使い方、冷房については夏、夏季においては学校等訪問したときとか開けっ広げでやっているというような状況もございました。その当時は今と比べてちょっとよくコロナ自体が分かっていない部分もあって、本当に慎重にということ結構開けたままでやっているという状態があったように思います。議員言われますように、ある程度その辺の指針が出ていますので、暖房についてはその辺を踏まえて効率的な、効率的かつ安全な使用をしてもらうように指示をしていきたいというふうに思います。

予算のほうは一応前期の実績を基にある程度余裕を持ってということ計上

させていただきます。

○議長（伊豆 千夜子） 教育長。

○教育長（下村 良次） ご質問いただきました給食室でのトイレの件でございます。

確認をとということだったのですが、本当に学校給食法といいますか、の中で給食室に調理員さん用のトイレは設置すること、できるだけ設置していくようにというふうなことは、もう以前からずっと言われておるところでございます。私たち現場におるときからもうその辺りはそういう要請がございますので、お願いをしたいというのはずっとやってきておりますけれども、当初明和町の場合も給食室を建てたときにはまだ、そういうあれがなかったもので、その後、トイレを造っていくということに対しましてなかなか難しい問題があって、遅れてきておったということが事実として、経過としてあるかなとは思っております。ですので、そういうふうな形でできないのであればより安全な形でトイレが済ませられるような場所でどういう形でやっていくかを考えていくというふうなことに方向転換をして明和町の場合はやってきておるというふうな現実がございますので、確認としましては学校給食法の中でこの十数年前からになるんかなとは思いますが、給食室のほうに設置していくようにやっていってくださいねという要望はずっと出されております。

それから、先ほど課長のほうから申しあげましたように換気の問題につきましては、学校の校長先生方は特にこのコロナ禍においてのこの寒くなってくる中、どういうふうなことで換気をしていくのが一番対策としていいのかということ进行交流し合いをしております、毎回の校長会の中でもこういう仕方がええよと、国からはこういうふうに来ておるからということで、ある意味電気代のところまではよう何もしておりませんが、子どもたちの安全確保というふうなことということも含めまして、換気についてはそのような対策をしております。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 産業振興課長。

○産業振興課長（堀 真） 階段工の踏面でございますが、私もこのコンクリートと申させていただきますのですけれども、表面をどのように仕上げさせていただいて自然と調和できるかということを考えさせていただいているような次第でございます。今言われますように前はチップをやらせてもろうていました。このチップを樹脂で固めるというのはいい工法を教えてくださいましたもので、その耐用年数とかどのぐらいかかるのかも一回検討させていただきまして、実施させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（伊豆 千夜子） 答弁漏れはございませんか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） ありがとうございます。

ぜひ、視聴率が分かればどんなふうになるか、高いですよというのがどういう意味合いで高いのか、見ていただいている割合です。確かによく聞くのは、老人会なんかで高齢者の方は、もうテレビを見ておってもしょうがない、ニュースやそんな番組ばかりしておるもので、行政チャンネル見ておるほうがおもしろいわという人もおみえになりますし、そこら辺、加入件数のうちのどのぐらいが見ているのかというのが、もし、分かるような、その家の確率とか視聴時間数とか分かればある意味いろんなまた手立てが打てるのかなと思しますので、ぜひ、チェックをしていただきたいと思います。

横道それましたけれども、この会議システム、議会のです、よう覚えておいてほしいのが3月議会でもし壊れたら、これ、当初予算認められなくなります。入れ替えするのに一月くらいかかったとしたら、発注して、4月以降にずれ込みます。そういう危険性をはらみながらやっているんだと、行政チャンネルの機器、もう6年たって大変なんですわと替える前に、私としては早うこっちを替えてくれという思いがありましたので、いらん質問をしました。えらいすみません。謝っておきます。

あと、トイレに関してなんですけれども、ないところがある、そこら辺、ず

っと課題やったと思うのですけれども、これ、コロナ禍でなんかその対策費が出るもので、これ、急いでできるようになったんでしょ。その中にぶち込むことはできやんの。ないところの給食室のトイレを。それはどこかで出ませんとかいうふうに書いてあるんですか。新規、その造るのは。和式から洋式に変えるのはOKですけれども、新しくトイレを設置するというはその対策費に放り込めませんか、何かどこかで決まりがあるんですか。それ、誰が答弁できるのか知らんけれども、その部分。もし、出るんやったら今やったらどうですか。そこら辺の検討もされなかったんですか。ちょっとその確認を。僕はもう、これで最後ですから聞きたいというふうに思います。

あと、会計年度職員さんの期末手当についてはしっかりと検討していただいて、国は出しますと。借金だらけで国も大変ですけれども、これはお約束事でございますので、ちゃんと出せるようにしていただかなあきませんし、しっかり調整していただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（伊豆 千夜子） 給食室のトイレの件の答弁、まちづくり戦略課長。

○まちづくり戦略課長（朝倉 正浩） すみません。

私のほうからちょっと、あくまでも一般論になりますが、今回の臨時交付金につきましてはそういう感染症対策あるいは次の新しい生活様式になるものであれば対象ということになりますので、基本的にその今のお伺いしているような要件で対象にならないという判断はできないと。逆に言えば、そういう事業があれば対象にはなるという、これは一般論でございますが答えさせていただきたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方はございませんか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） ちょっと何点かお伺いをします。

14ページのところの、ちょっとマイナンバー関連の職員手当、時間外勤務手当というところを出されて、説明のところの日曜の勤務分であるというふうな

説明を受けているんですけれども、ちょっと私も不確かな情報なんですけれども、日曜日にそのマイナンバーカードの交付というような業務をこれまでされていたんでしょうかと。この時間外の手当というのはどういうことでされているのかなということをちょっと疑問に思ったので、それをお伺いします。また、これ、職員の手当になるんでしたら正職の方になるのかなとも思ったので、よく正職の方ですと代替えという形での振り分けもされていると思うのですけれども、ちょっとその部分を説明を願います。

それから、ちょっと皆さんの関連になってくるんですけれども、32ページの学校の電気代のところで、先ほど北岡議員とかも言われましたこの換気をされている部分で、国の指導というかそういうのもあるんですけれども、今その換気をするのにいろんなモニター的なものが出ていたりということもあるんですけれども、そういうことも考えられているのかと。それから、ほかのところの予算で会議室等々に空気清浄機、殺菌の機材等機械等を入れると言われた、その教育施設のそういう教室にそういうことの導入ということはお考えがあるのかなのか、それもお聞かせ願いたいと思います。

それから30ページ、ちょっと行ったり来たりしますけれども、G I G Aスクール構想のところのタブレット、リモートの授業にも今後利用されているのかなと。国のほうも新興感染症対策という、この年末からやっとなんと動き出すと厚生労働省のほうからの話も聞いているんですけれども、今、ちょっと三重県の北西部のほうで感染爆発で日本全国でもちょっとトップクラスの、この5本の指やら10本の指やら入るといような状況になってきているという中で、三重県下の状況というのもこれから心配、それで年末年始、ロックダウンではないけれども、非常事態宣言を出さないかんやないかと国のほうもかなりいつている中で、ひょっとしたらまた、学校の休校とかそういうことが起こりうるかもしれないという、そういうところに対しての考え方を持っておられるのか、それから、先々そのタブレットの授業であったり、リモートでの学習をするときに、やはり学校の先生、今の現在の職員の方だけでは対応しきれない

と思うんです。そういうところに新たなそれに特化をした支援員の導入とかそういうことがお考えの中にあるのか、それをちょっとお伺いをしたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 住民ほけん課長。

○住民ほけん課長（吉川 伸幸） マイナンバーカードの交付についての質問をいただきました。

9月にまず1回、日曜日にやるような形でスタートさせていただきまして、件数がどんどん増えてきている中で11月からは日曜日、月2回交付をさせていただいているというような状況でございます。交付件数がどんどん増えておりますので、その通知とかその交付のもちろんその際の説明とか、いろんな事務をさせていただくのに平日残っての時間外であるとか、あとは日曜日に対応するための時間外を今回追加補正をさせていただいたということでございます。

○議長（伊豆 千夜子） 教育課長。

○教育課長（菅野 亮） まず、電気代の関係の換気とかその教室の空気の状況、その辺は国とか文科省とかの指針とかも踏まえて、さらにいろいろ検討していきたいと思います。

一応空気清浄機を今回コロナ対策の学校保健特別対策事業の中で各学校に100万円というのがありました。中学校200万円で斎宮小は150万円、ほかの学校は100万円なんですけれども、その経費の中で取り組んでいただいた学校もございしますが、ちょっと学校によって多少のばらつきはございます。その状況も空気清浄機はないけれども、加湿器をそろえておるとか、その辺は調査をしたんですけれども、ちょっと手元に今ございませんが、ある程度把握はしております。そういう中で、また今後考えていきたいというふうに思います。

G I G Aスクールの関係ですけれども、休校、これからもし、コロナがもっと進展して休校した場合とかもあり得るという話の中で、児童生徒一人一台端末のほうは、ちょっと心配していましたがけれども、各市町で購入が重なっておりますので、納品がされましたのでこちらのほうは安心しております。ただ、そ

の、もし休校になった場合にこれを今すぐ使って授業ができるかという、その体制にはまだなっておりません。各先生方もまだ、そのそういう状況に慣れていない中で県で主催する研修とか、そういうのにも積極的に行っていただいています。また、この明和町の小中学校でそういう担当者会議みたいなものを組んで、そこで協議したり、研修なんかも進めておるところでございます。そういう中で早く対応ができるように進めていきたいというふうに思います。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） マイナンバー関係の出勤のことは理解をさせていただきました。

その学校関係のそのタブレットでの授業に関して、先生方、研修も受けておられるということも今説明を受けたんですけども、それでなくても普通のこの何もないときでも先生、職員の先生の方の負担というのはもう、ものすごい過重になっていて、家で持ち帰りの仕事もたくさんある、土曜日でも日曜日でも何もないというのが今でも現状だと思うんです。そこにまた、こういうことへの負担というのがのしかかかってしまうと、やはりその先生のその処遇というか体調であったり、精神面であったりとかそういうところでかなり負担もものすごく増えてくるのではないかと心配しております。また、教育の現場から働いている方からもそういうことも聞かせてもらっております。やはり、そういう部分では、町単独で支援員を新たに入れるという、すごい厳しいことやと思うので、そういうこともしっかりと声を上げて、本当に充実して、子どもさんの命も守らなければいけません、コロナだけじゃなくてこれから新興感染症も出てくる中で、今コロナでも若年の子どもさんはあまり感染しても症状が出ないんやと言われてはいるけれども、どういうことになるか分からんへんのでその対応もしていかなあかん、先生方の健康面、体や心の健康面というのも守っていかなあかんという中では、やはり職員というか人材の充実というものは絶対必要やと思っているんです。そういうところ辺を、やはりちょっと声を上げていた

だきたいと思うんですけれども、それだけちょっと答弁願いたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 教育長。

○教育長（下村 良次） 本当に貴重なご意見といたしますか、いただきまして大変うれしく思っています。もし、学校が休みになったらこのような形でGIGAスクール構想が前倒しになった事実はございますので、その辺準じてやっていきたいのですが、実際のところ今すぐできるわけにはいかんと思っています。

ただ、今心配していただいておりますように支援員さんら等でもつけてもらうて、先生らの負担を減らしてやれよというふうなご意見やと思うんですけれども、私としてはこのコロナ対策だけではなく、GIGAスクール構想というのは今後ずっとしていかならんことですので、それが前倒しでやっていかならんことを考えていきますと、今しっかり職員の研修も含めてやっていかなあかんのかなと思っていますので、支援員さんをつけて助けたれというよりも研修に力を入れるような形で、実際にやっていけるような形でしていきたいなと思っています。

ですので、今のところこの今回の構想に対しまして県のほうもいろんなICTサポーター等々の支援はいただいておりますので、それを最大限利用して、あとは研修のほうもこちらからどんどん進んで、良い場を設けていくということで、今現在も県からの研修と、それから松阪市で大きく展開していただいておりますので、そちらへも参加させてくれというふうな形での要望をさせてもらいながらスムーズに移行ができるようにというか、準備ができるように進めておりますので、ご理解いただければと思っております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） これは最後に要望になりますけれども、やはり私の立場からすると、教育現場で働く先生方の健康面、しっかりとやるべきやと思いますので、そういう部分の改善は求めていきたいと思っています。

それから、学校現場の空気清浄機等、それ、もう一度しっかりチェックをし

ていただいて、子どもたちの健康を守っていただけるような環境をつくっていただきたいと思います。要望にしておきます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方がないので、これで歳出全般の質疑を終わります。

お諮りします。

議事整理のため、暫時休憩いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 異議なしと認めます。

よって、暫時休憩いたします。40分までお願いします。

（午前 10時 30分）

（午前 10時 40分）

○議長（伊豆 千夜子） 休憩を解きまして、休憩前に引き続き会議を開きます。

続きまして、5ページから8ページの歳入全般並びに議案書の27ページ、第2表繰越明許費をお願いします。

質疑される方はございませんか。

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第68号の質疑を終わります。

続きまして、議案第69号 令和2年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算（第3号）の質疑を行います。

質疑は歳入、歳出全般をお願いします。

質疑される方はございませんか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） 8ページのところの時間外勤務手当のところなんですけれども、説明では重要計画が重なるための補正であったということを伺っているのですけれども、ちょっとこの重要な計画と、歴まち関係になるのでしょうか。ちょっと内容を説明していただけたら説明していただきたいと思えます。

それから、下の段の公園便器施設環境整備工事等これもコロナ対策でトイレを和式から洋式にされるというところなんですけれども、ちょっとどこの箇所なのかと。今回のこれで、その齋宮跡関連、これで全て洋式が完了するのかどうかと、ちょっとその確認をさせてください。

○議長（伊豆 千夜子） 齋宮跡・文化観光課長。

○齋宮跡・文化観光課長（松井 友吾） 時間外でございますけれども、地域計画、これは先週の金曜日に文化庁のほうの認定を、内示をいただきましたけれども、地域計画を作る件でありますとか、あとおっしゃられたように歴まち計画でございます。あとは、公園の便器施設なんですけれども、のご質問ですけれども、和式のトイレを洋式に変えるんですけれども、その利用頻度の高いものから予算の範囲内で工事をしたいというふうに考えております。あと、齋宮跡関連でもいつきのみやの歴史体験館に和式がまだ一つ、この工事が多分終わっても残すかなというふうな、ちょっと協議をした中で和式トイレをちょっと一カ所残したいなということと、あと、どんど花、東野の西側にあるどんど花のところに公衆トイレが、シーズン中だけ開ける公衆トイレがあるんですけれども、そこがちょっと和式のトイレ、和式というか男性用の立って、立つスペースと便器は和式のような、後ろが三角形にとんがっているようなトイレがあるんですけれども、そこはちょっとそのまま、ちょっと和式のままで置きたいなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

ほかにございませんか。

奥山議員。

○1番（奥山 幸洋） 齋宮跡の16公有財産購入費で、今度4,532万1,000円ですか、補正ということなんですが、この公有化につきましては私も再三申し上げておるのですが、2億4,000万円という形の中で動いてもろうておると思うんです。ところが、こちらの歳出の予算を見ると9,300万円と4,780万1,000円と。この保存活用費は1億4,102万9,000円ということで、これは公有化以外のものも入っておるわけですが、2億4,000万円に程遠いわけです。この公有化の費用なんですけれども、現在先行買収というのは3回ぐらいやっておって3回目もやられたんですけれども、これが先行買収で回収されておるのか、まだ先行買収をやったけれども、今現在何件の方が待って、みえる方がみえるのやったら何件待ってみえるのかと。それで、この4,500万円、4,532万1,000円ですか、これがこの公有化の費用としては今現在トータルどれだけの金額になっておるのかというところをまず、聞かせてください。

○議長（伊豆 千夜子） 齋宮跡・文化観光課長。

○齋宮跡・文化観光課長（松井 友吾） 議員おっしゃられましたように数字は予算そのとおりに組まさせていただきます。ご質問の中での買取りの希望者なんですけれども、実は最近では平成30年に先行買収を2億1,000万円ですませていただきまして、この時点で一旦、待ちの方はゼロというふうになりました。平成30年と令和元年度、令和2年度の今回の分でもまた買取り希望がたくさん出てきておりまして、今現在で29名の方から買取り希望が出ております。この29名の方の買取り希望が希望額、総事業費ですけれども、2億9,700万円という形でございます。2億4,000万円みていたら数年で解決はしていくのかなという計算ではございます。それとあと、ご質問のあったその総事業費の今までの過去の、昭和54年からの全部トータルでよかったですかね、奥山議員。今年度ですね。今年度は、当初4,800万円ぐらいだった事業費が今年度途中で追加の補正が先ほど私、説明をさせていただきましたようにござい

まして、今年度は総事業費で9,300万円ほどでございます。

以上でございます。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問はございますか。

奥山議員。

○1番（奥山 幸洋） ありがとうございます。

ちょっとこういうことを聞かせてもらいますと、ちょっと町長にお聞きしたく質問したいわけですが、何回も言っておりますけれども、斎宮跡というのは昭和45年に指定されて以来、公有化事業費2億4,000万円というのはほぼ確保されてきております。これは確保されてきておりますけれども、県と町、国、特に町と県については町のほうはこの2億4,000万円を確保するために本当に地権者の方の県への要望もありますけれども、今はコロナ禍でそんなことはできないと思うのですけれども、それにしましても町のほうでこの2億4,000万円を確保するために、町長さんを筆頭に努力をしていただいておりますということになります。これ聞くと令和2年度は9,300万円ほどやということですが、前年度も承知はしておりますが、2億4,000万円には程遠い金額やということになります。

この2億4,000万円というのは町長さんもよくご承知やとは思いますが、指定の地域の住民の方はずっとリスクを受けておるわけですが、この公有価格があつて、補償の意味もあつて今でもリスクを受けておるわけですが、2億4,000万円の確保というのは、これは絶対なんです。町長にお聞きしたいわけですが、この去年も含めて、去年どんだけの額やったかご承知ですか、公有化のお金は。それも含めて、これ、何回も言っておつてもあきませんので、町長さんが県のほうに要望していただくしかないわけですが、2億4,000万円というのは。ですので、まず、町長さんのこの2億4,000万円の考え方についてお聞かせください。

○議長（伊豆 千夜子） 町長。

○町長（世古口 哲哉） 2億4,000万円はこれまでの約束だったということで、

地権者の方から聞いています。この前も齋宮跡協議会の役員さんに来ていただきまして、話合いの場を持たせてもらいました。

ここ数年の部分でいうと、当初額の額がすごく落ちてきて、今回も補正でどんだけかは、つきましたのですけれども、当初の額が非常に落ちてきているという部分がありますので、そこら辺については今度協議会さんのほうで町のほうにも要望をもらいましたし、県のほうにも上げるということでしたので、町といたしましては協議会さんとの話合いの中で町の副申をつけて県のほうには要望を出すという形、その要望に副申をつけて出すということでお話をさせていただきました。

出し方をどうされますかという話があったんですけれども、やはりコロナ禍やもんでなかなか行けないというのがあるので、ちょっと文書で送らせてもらおうかなという話やったんですけれども、一応副申をつけて、一応コロナ禍ということもあるので、一応渡しにだけはその齋宮跡のほうで副申をつけた中で渡しに行こうということで、そうしたらそれをお願いしますということでご了解をいただいております。タイミングとかいろんな状況が合いましたら、私のほうからも行かさせてもらうのは全然やぶさかではないので、行かさせてもらおうと思うのですけれども、まずは齋宮跡のほうで副申をつけて県のほうに持っていくという形を取りたいと思います。持っていくところも教育委員会と言っていたのですけれども、教育委員会だけでは弱いので、知事宛てにも出すということで行こうということで話合いの下にそのような形を取らせていただきたいと思っております。

ですので、先ほども、二十何人待っているということもありますので、2億4,000万円という県の方もなかなか難しいところはあるかと思うんですけれども、ちょっとあまりにも少なくなってきた部分があるかと思っておりますので、そこら辺はちょっと県のほうには要望させていただきたいというふうに思っています。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問はございますか。

奥山議員。

○1番（奥山 幸洋） ありがとうございます。

町長さん、一つ気になる言葉があったのが、この時代があって、時代背景で2億4,000万円は難しいというのは、それは誰でも思うことです。やはり、でもお願いに行ってもらう気持ちとしては2億4,000万円を必ずつけていただくという気持ちで行っていかんと、これはまた余計難しいと思うんです。やはり気持ちは2億4,000万円という気持ちで県へ行っていただきたいと思います。これは要望です。

以上です。

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方がないので、これで議案第69号の質疑を終わります。

続きまして、議案第70号 令和2年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第70号の質疑を終わります。

続きまして、議案第71号 令和2年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第71号の質疑を終わります。

続きまして、議案第72号 令和2年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第72号の質疑を終わります。

続きまして、議案第73号 令和2年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） 10番、北岡。

ちょっと教えていただきたいと思います。現在このコロナ禍で、施設とかいろんなところに入院されている方とケアマネジャーさんが対面、なかなかできないということで、この前もご相談された方がケアマネジャーさんも15分ぐらいしか面談できないと。病院等に入院しておる場合です、そんなお話を聞いたことがあります。そこら辺、ケアマネジャーの料金に反映されるのか、そこら辺。時間的な問題です。それと、介護計画を立てるときにいろんな方が集まってきたりいただくはずなんですけれども、それも集まることができないということがあると思いますけれども、そこら辺の介護サービスの給付に対してどんなふうに変ってくるのか、お分かりであればちょっとお示しをいただきたいというふうに思います。

そこら辺の対策ですね。しっかりとそこら辺のケアマネジャーさんが活動できるように、また介護計画が間違えずに立てられるようにどんなふうに明和町は指導されているのか教えていただきたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） 現在このコロナがこの状況でいろいろ施設への訪問等受入れを制限されている施設が増えてきているのは現状としてあります。一応ケアマネジャーは基本在宅にみえる方の計画をプランを中心に立てるということで、入院された場合とか、その病院のケースワーカーがみえる場合はケースワーカー、あるいはその病棟の看護師さんなりそういったところとの情報連携という形でなるだけ正しい情報のキャッチという形では動いていただいているとは思いますが。

サービス担当者会議という形でプランを立てるときにいろんな関係者が寄って、その人に適したプランを立てるという会議を開くことは必須なんですけれども、この状況下、できるケースの場合ですといわゆるコロナ対策感染予防対策を取って、Webでできる場合はWebでやったりとか、そういった形でケアマネジャーさんなりにいろいろと工夫をしながらやっていただいているというのが現状でございます。これに対しては特に減算であったりとか、そういったものの対象とはなっていないと思っております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） ここら辺も明和町民の皆さん方がかかる介護保険でございますので、きちっとそういう対面がしなくてもできるような、何らかの方策ですね、相手方との、何か一つ一つ、来年以降になってくるとは思うんですけれども、方策を立てていただきたいというふうに思います。しっかりしたケアマネジャーさんの活動と計画がしっかり立てられるように努力していただきますよう要望しておきます。よろしく申し上げます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） 10ページ、一番下のところの給料のところの権利擁護事業費、これ、ちょっと減額になってはいますが、もうちょっと改めてこの事業の内容がどういうものであるのかということ、減額になっているというこ

とはこれの対象が少なかったということになるのかなとも考えられるのですけれども、ちょっとそちらの説明をお願いいたします。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） こちらにつきましては、地域包括支援センターに配置されています保健師のほうが人事異動の関係で入れ替わりとなりましたので、そちらの分の給料とかの人件費の減額という形になっておりますので、そのようにご理解いただけたらと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） ちょっとこの事業自体、ちょっとどういうものなのか。ちょっと私も不案内な部分もあって申し訳ないんですけども、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） 権利擁護事業につきましては、いわゆる成年後見制度でありましたり、そういった形の高齢者の人権に関わる問題で、高齢者虐待の問題であったり、そういったものを対応するような事業となっております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） 説明していただきましてありがとうございます。

それから、ちょっと最後になるんですけども、北岡議員の質問にも関連するんですけども、ケアマネジャーさんの仕事、コロナ禍で大変な状況になっている中でもあるんですけども、日頃からかなりお忙しいような状況も私、感じているんですけども、そういう部分の対応というのも今後考えていただきたいと思うんですけども、コロナも併せて。その点についてちょっとお考えをお聞かせください。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） ケアマネジャーさんにつきましては、居宅介護支援事業所にみえるわけなんですけれども、一人あたりの持てるプランの件数というのにも限られておりますので、そういった形でいろんな事業所も近隣には増えたりとかもしている状況なんですけれども、その今回コロナ禍でいろんなケースが増えたという部分もありまして、その辺でケアマネジャーさん、いろんな対応に追われたりという形でちょっと忙しくされてみえる方もあるかと思っておりますけれども、ただ、そんなに逼迫をしておるのかというところもそういう状況でもないように思いますので、その辺、ちょっと調整もしながらお願いしていきたいと思っております。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方がないので、これで議案第73号の質疑を終わります。

続きまして、議案第74号 令和2年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第74号の質疑を終わります。

続きまして、議案第75号 令和2年度明和町水道事業会計補正予算（第3号）の質疑を行います。

質疑は収入支出全般でお願いします。

質疑される方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 質疑される方がないので、これで議案第68号から議案第75号の質疑を終わります。

以上で一括上程した各議案の質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論は一括上程した全議案を対象に行います。一部の議案についてのみ討論される方は、議案名を明確にした上で討論されるようお願いいたします。

討論される方はございませんか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） ただいま一括上程されました議案のうち議案第68号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第7号）につきまして、反対の立場で討論いたします。

総務費で計上されておりますマイナンバーカードを普及するため及びマイナポイント事業に係る補正に関しまして、マイナンバー制度に万全なセキュリティーはなく、個人情報流出が起こる可能性は否定できません。また、国による個人監視の強化などへの警戒心などで不安や必要性を感じていない人が多いことがこれまでの普及率からも現れていると考えます。マイナンバー制度は今からでも止めるべきだという立場から反対をさせていただきます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） ほかに討論される方がないので、これで討論を終わります。

◎議案第68号の採決

○議長（伊豆 千夜子） これから一括上程した各議案の採決を行います。

まず、議案第68号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第7号）を採決します。

議案第68号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(多 数 起 立)

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立多数です。

したがって、議案第68号は原案のとおり可決されました。

◎議案第69号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第69号 令和2年度明和町齋宮跡保存事業特別会計補正予算（第3号）を採決します。

議案第69号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(全 員 起 立)

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第69号は原案のとおり可決されました。

◎議案第70号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第70号 令和2年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を採決します。

議案第70号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(全 員 起 立)

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第70号は原案のとおり可決されました。

◎議案第71号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第71号 令和2年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を採決します。

議案第71号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第71号は原案のとおり可決されました。

◎議案第72号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第72号 令和2年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を採決します。

議案第72号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第72号は原案のとおり可決されました。

◎議案第73号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第73号 令和2年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）を採決します。

議案第73号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第73号は原案のとおり可決されました。

◎議案第74号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第74号 令和2年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を採決します。

議案第74号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第74号は原案のとおり可決されました。

◎議案第75号の採決

○議長（伊豆 千夜子） 続きまして、議案第75号 令和2年度明和町水道事業会計補正予算（第3号）を採決します。

議案第75号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

起立全員です。

したがって、議案第75号は原案のとおり可決されました。

以上で、一括上程した各議案の採決を終わります。

◎議案第76号の上程～採決

○議長（伊豆 千夜子） 日程第3 議案第76号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（世古口 哲哉） ただいま上程されました議案第76号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第8号）につきまして、その提案理由の説明を申し上げます。

本件は新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業を実施するに当たり、衛生費におきまして追加補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては担当課長が説明いたしますので、よろしくご審議の上お認めいただきますようお願い申し上げます。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） 私から一般会計補正予算（第8号）の詳細説

明をさせていただきます。

こちらは本年12月2日に予防接種法及び検疫法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、新型コロナウイルスワクチンについては現在開発中ではあるが、仮に有効性、安全性が確認されたワクチンが開発された場合には国民への円滑な接種を実施するため、必要な体制の確保を図ることが必要であるとの趣旨により、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業についてに基づき、補正予算をお願いするものでございます。

まず、歳出から説明させていただきます。

議案書追加分の10ページ、11ページをお願いいたします。

4款・衛生費、1項・保健衛生費、1目・保健衛生総務費新型コロナウイルス感染症対策費で810万円を計上しております。

まず1節・報酬の41万8,000円はワクチンが認可された後、接種券の個別発送等の業務を速やかに実施することが求められますことから、会計年度任用職員1名の報酬について計上しております。

8節・旅費の6,000円は会計年度任用職員1名の費用弁償について計上しております。

10節・需用費の5万円は医療機関等へ依頼する際の実施要領や請求書の用紙など消耗品費について計上しております。

11節・役務費の226万4,000円は接種券の個別通知発送や医療機関への書類の郵送に係る郵送料です。

12・節委託料の536万2,000円は電算委託料で、接種券の個別発送対象者の抽出や通知等の印刷、接種記録の管理等を行うために、既存の予防接種台帳システムの改修を行うための経費を計上しております。

続きまして、歳入の説明をさせていただきます。

8ページ、9ページをお願いいたします。

15款・国庫支出金、2項・国庫補助金、3目・衛生費国庫補助金、1節・衛生費国庫補助金に810万円を計上しております。こちらは新型コロナウイルス

ワクチン接種体制確保事業に係る国庫補助金で、補助率は100%でございます。

なお、今後国の動向等に基づきまして緊急的な補正対応等が必要になってくる場合もありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上です。

○議長（伊豆 千夜子） 詳細説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般でお願いします。

質疑される方はございませぬか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） お伺いをいたします。この新型コロナ感染症対策費なんです、原則は住所地内で接種ということで、市町村は自分たちの住民の皆さんに対して接種の体制整備をせなあかんと、医療機関に委託する場合と、それからどこか場所を決めて接種をする方法と様々なことができると思ひますけれども、この例外の部分があるんですよ。出産のため里帰りしている方とか、遠隔地へ下宿している学生さんだとか単身赴任の方とか。そういう方々に対してのどんなふうな啓発をしていくのか、そこら辺のやりとりです、どこまで掌握をしていくのかというのを、もし、お考えでございましたら教えていただきたいと思ひますとともに、ワクチンによっては保管庫が必要だということが言われております。マイナス70度でしたっけね。そういう保管庫、国のほうが今各メーカーに発注をしているようでございますけれども、そこら辺の保管庫、3月までにワクチン接種が始まりますよということになりましたら緊急に整備をしていかなくてはなりませんし、そこら辺の体制、どんなふうに進めてみえるのか、ちょっとお考えをお示しいただきたいと思ひます。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） 接種体制の整備につきましては、先日12月16日の日に松阪地区の医師会と、それから松阪市、それから多気郡3町集まりまして、今後どうしていくかという話し合いをスタートさせたというところになっております。

今後その接種場所につきましては、その優先順位が医療従事者あるいは高齢者、優先順位の対象者にもよりますし、そのワクチンの種類もどの種類が入ってくるかというのもまだ不確定なところもございまして、今後もう一度、何回か地区医師会や管内の市町によって、そういう接種体制を、集団的な接種場所の確保が必要なのか、個別に医療機関で受ける体制を整えるのか、そういった辺りの細かい話をまた、これから詰めていく段階ではございます。18日の日に国からのいろんな説明もございました。ディープフリーザーの件ですけれども、ディープフリーザーも国が一括で買上げて、人口割で各市町のほうへ何台、何台という配布をするというふうに国のほうからは聞いております。それがいつ届くのか、どういった配布状況になるのか、それについてもまだ、ちょっと詳細のほうは下りてきておりませんので、それもどこに設置をしてどういった接種体制を組んでいくのかというのも今後の検討かなという形になっております。

それと、住所地以外の方につきましては、一応接種券については全員に配布する準備をとっている形になっております。住所地以外で接種された場合に、請求事務につきましても国保連を通して住所地のほうに請求されるという形で、風疹の第5期のようにどこのところでも受けていただけるような体制を整えていくというふうには聞いておりますが、何せ国民全員という形になりますとかなりの人数となりますので、その辺りも調整というのは必要かと思いますが、周知、啓発のほうにつきましてはこちらのほうも鋭意努力していきたいと思っております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

北岡議員。

○10番（北岡 泰） こちらのみにえない方は全国共通のクーポン券と国のほうが考えていただけたらと思いますので、それらも活用しながら全ての皆さんが安心して受けていただくように、反対に副反応とか副作用が起きた場合も国がちゃんと補填をするということで、法律的な体制整備もされておりますので、そこら辺も併せて皆さんが安心して受けていただけるような説明と周知をしていた

だきたいと要望して終わっていきたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） 同じくワクチンの予防接種のことにに関して、本来であるならば何年もかかって開発されるという薬が急遽ワクチンが開発されて、今世間の住民の皆さんたち、大変混乱されています。本当に打っていいんだろとか、先ほど北岡議員の言われたような副反応の心配であるとか、それとか中には国民全員どうしても受けなあかんのやとか、任意でいいんやろうとか、かなりの情報が、混乱をし、錯綜している中で、やはりこの事業が実施されるにあたっては安全性であったり、個人の意思の尊重であったり、受ける受けないに関しても、そういう部分もきっちりとその国のほうとも協議をしていただいて、不安のない形でやっていただきたいと思うんですけども、今のところ、このワクチンというのは国民全員接種、先ほどの話やと全員受けやなあかんのかなみみたいなイメージもあるんですけども、ちょっとそういうワクチンの状況、接種状況、どのようなものかちょっと説明をお願いしたいと思います。

○議長（伊豆 千夜子） 健康あゆみ課長。

○健康あゆみ課長（西岡 郁玲） このワクチンにつきましては、あくまでも努力義務という形で、ご希望される、副反応等のいろうんなリスクもきちっとご考慮いただいて、ご本人さんが希望されるという形での接種という形になってまして、強制的に接種をするものではございませんが、接種券につきましては全員に配布という形というふうになっております。

○議長（伊豆 千夜子） 再質問ございますか。

田邊議員。

○8番（田邊 ひとみ） ワクチン接種を受ける権利もあるし、受けない権利もあるということ、それは尊重していただいて、それでまた、一般の人はなかなか情報が入りにくいというところもございます。そういう部分をやはり町のほうとしても努力をしていただいて、お医者さんのほうともしっかりと連絡を取

っていただいて、正しい情報が入るようにこれは努めていただきたいと思います。
す。要望としておきます。

○議長（伊豆 千夜子） ほかにございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） ほかに質疑される方がないので、これで議案
第76号の質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議長（伊豆 千夜子） 討論される方はございませんか。
（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（伊豆 千夜子） 討論される方がないので、これで討論を終わ
ります。

これから議案第76号 令和2年度明和町一般会計補正予算（第8号）の採決
を行います。

議案第76号は原案のとおり承認することに賛成の方は起立願います。

（ 全 員 起 立 ）

○議長（伊豆 千夜子） 起立全員です。

したがって、議案第76号は原案のとおり可決されました。

◎ 連合審査会の閉会中の所管事務調査の件

○議長（伊豆 千夜子） 日程第4 連合審査会の閉会中の所管事務調査の件を
議題とします。

総務産業常任委員長並びに教育厚生常任委員長から会議規則第75号の規定に
よってお手元に配付しました調査事項について、閉会中の継続調査の申出があ
りました。

お諮りします。

各常任委員長からの申出のとおり、連合審査会の閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○議長（伊豆 千夜子） 異議なしと認めます。

したがって、各常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

◎委員会の閉会中の所管事務調査の件

○議長（伊豆 千夜子） 日程第5 委員会の閉会中の所管事務調査の件を議題とします。

議会運営委員長から会議規則第75号の規定によってお手元に配付しました所管事務の調査事項について、閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りします。

委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

○議長（伊豆 千夜子） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

◎閉会の宣告

○議長（伊豆 千夜子） 以上で本日の日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

これにて令和2年第4回明和町議会定例会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

最後に町長、ご挨拶をお願いします。

○町長（世古口 哲哉） 6日間にわたりましてご審議をいただきました。そして、全ての案件につきまして可決をいただきました。ありがとうございました。

さて、これは余談になりますけれども、先日来年から伊勢志摩を中心に映画を撮られます。明和町もロケ地として選ばれるということなんですけれども、映画を撮られます田中光敏さんという監督さんが再び明和町の役場のほうにお越しいただきまして、来年からのいろいろな撮影にあたってのご協力の要請ということと、それから、この12月11日に上映開始しました天外者という映画、天の天です、お天道さんの天ですけれども、天の外のもので、者です、と書いて天外者という映画が田中監督が監督で上映を開始したということで、そのPRも兼ねて来られたということでもあります。イオン明和のほうとかでも今上映されておりますので、私も見させてもらったんですけれども、五代友厚さんという幕末から明治にかけてご活躍して、この日本の幕府から新しい政府に変わっていくときにいろいろご活躍された方の物語になっております。おもしろい映画ですので、また、よければご覧いただければなというふうに思っております。

本日議会の最終日ということで、例年ですと最終日には忘年会を兼ねた懇親会ということで、いつも夜、行かさせてもらうんですけれども、コロナ禍ということでそれがかなわないということで、非常に残念であります。来年まであと10日ほどになってまいりましたけれども、来年はコロナが終息して平穏な世の中になることを願っておりますし、議員の皆様、それから町民の皆様のご多幸を、来年は幸多き年になりますことを心から祈念をいたしまして、議会最後に当たっての挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○議長（伊豆 千夜子） ありがとうございます。

（午前 11時 25分）
